

## CX-Protocol Ver.1.40 から Ver.1.50 へのバージョンアップ手順

### バージョンアップの流れ

初めに、CX-Protocol Ver.1.50 へのバージョンアップを行うために必要となる操作の流れについて説明します。

- 1) 現在の CX-Protocol のバージョン確認
- 2) バージョンアッププログラムのダウンロード
- 3) バージョンアップの実行
- 4) バージョンアップの確認

### 現在の CX-Protocol のバージョン確認

まず、パソコンにインストールされている CX-Protocol のバージョンを必ずご確認ください。確認方法は CX-Protocol 起動後に[ヘルプ] | [バージョン情報]において表示されるバージョンにより確認することができます。

また、お手持ちの CX-Protocol インストール CD のラベルに表示されているバージョンでも確認することができます。

### バージョンアッププログラムのダウンロード

1. CX-Protocol Ver.1.50 へバージョンアップするためのインストーラを、CX-Protocol Ver.1.40 がインストールされているパソコンのハードディスク上へコピーする必要があります。

次のファイルをダウンロードし、CX-Protocol Ver.1.40 がインストールされているパソコンのハードディスク上の同じフォルダへ展開します。

CXPr140\_150J.EXE

2. フロッピー経由でバージョンアップソフトをパソコンのハードディスク上にコピーしたい場合には、次の分割された複数のファイルをダウンロードし、CX-Protocol Ver.1.40 がインストールされているパソコンのハードディスク上へ、それぞれ同じディレクトリにコピーします。

CXPr140\_150JC.exe

CXPr140\_150JC.001

CXPr140\_150JC.exe をダブルクリックすると、CXPr140\_150J.EXE が生成されます。

このファイルは自己解凍型のファイルですので、エクスプローラでダブルクリック

することにより解凍できます。また、デフォルトの解凍先ディレクトリは C:\¥CXPr140\_150VU となります。

次の 8 個のファイルが解凍先ディレクトリへ展開されたことを確認してください。

- data1.cab
- data1.hdr
- data2.cab
- ikernel.ex\_
- layout.bin
- **setup.exe**
- setup.ini
- setup.inx

3. ここで、上記ファイルの中から setup.exe を実行することによりバージョンアップが開始されます。バージョンアップ終了後、本ディレクトリは削除しても構いません。

#### バージョンアップの実行

ここでは、setup.exe 起動後のバージョンアップ操作について説明します。

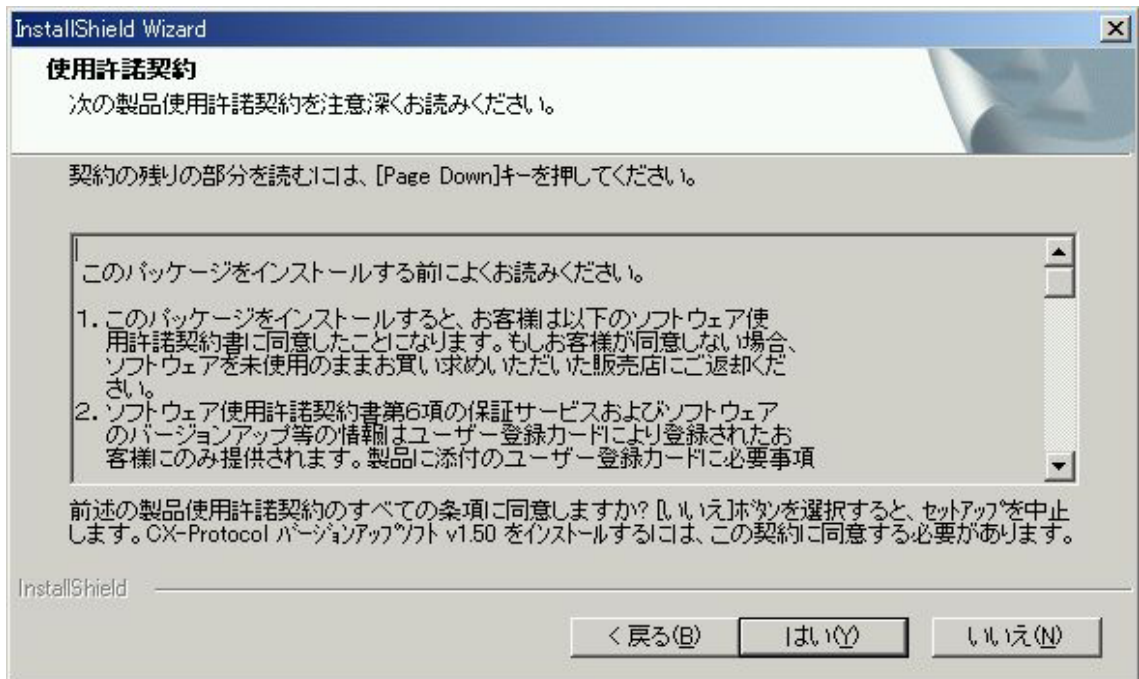
まず初めに、CX-Protocol が起動中でないことを確認してください。起動中にバージョンアップを行うことはできません。

また、CX-Protocol Ver.1.40 がルートディレクトリ(例：C:\¥)にインストールされている場合は、これをバージョンアップすることはできません。CX-Protocol Ver.1.40 を一度アンインストールし、ルートディレクトリ以外に再度インストールし直してからバージョンアップを行ってください。

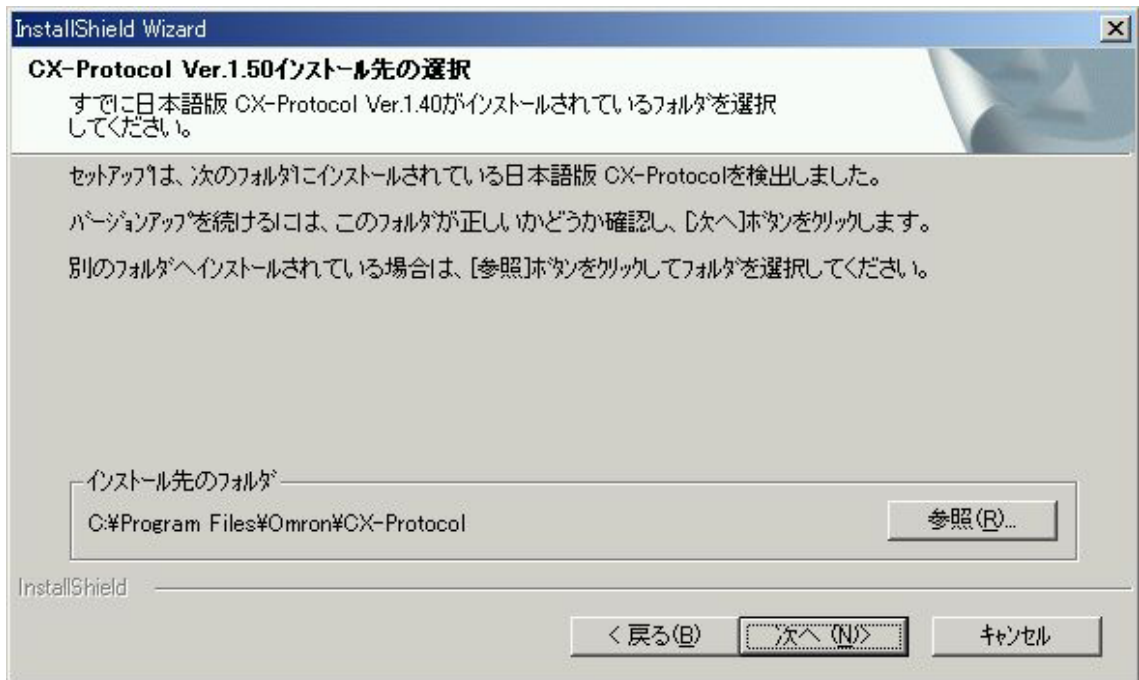
1. setup.exe 起動後に次に示すダイアログボックスが表示されます。



2. [次へ]ボタンをクリックします。  
[使用許諾契約]ダイアログボックスが表示されます。



3. [使用許諾契約]をよくお読みになり、すべての条項にご同意いただける場合は、[はい]ボタンをクリックしてください。  
次のダイアログボックスが表示されます。  
このとき、インストーラは自動的に CX-Protocol Ver.1.40 がインストールされているフォルダを検出します。

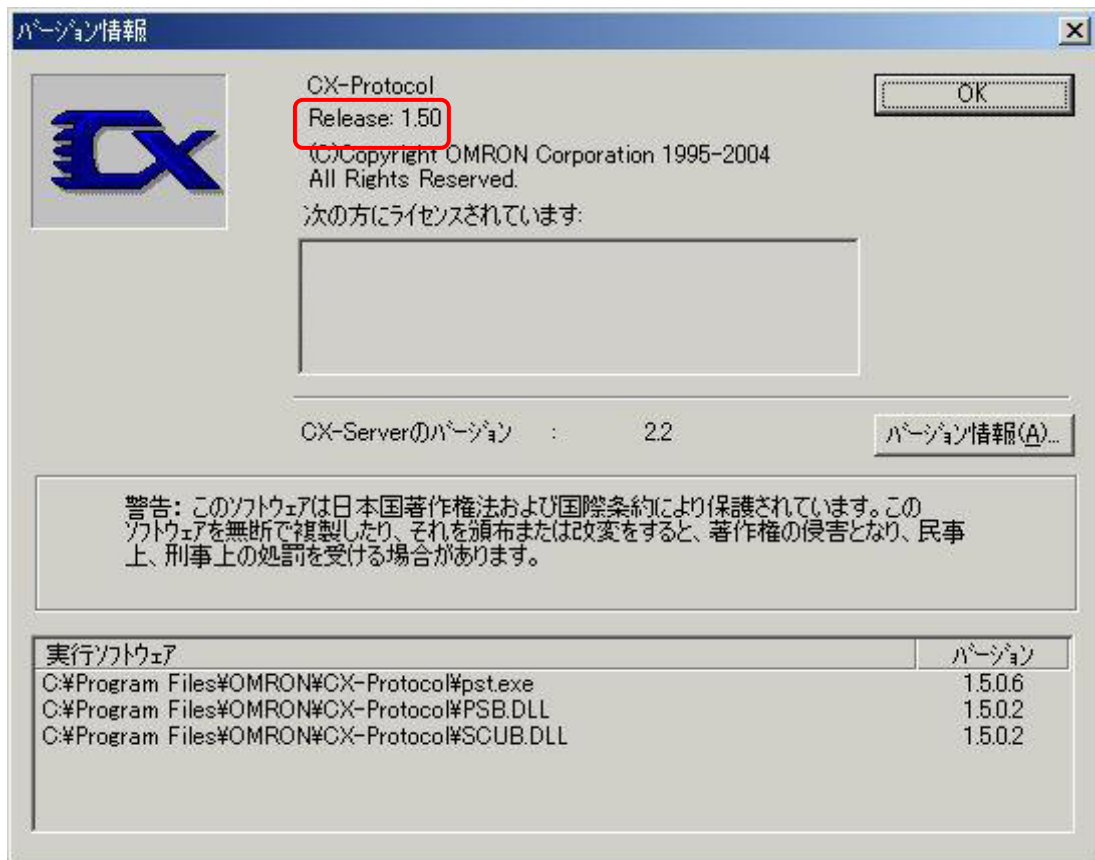


4. CX-Protocol Ver.1.40 がインストールされているディレクトリを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。
  - インストールプログラムにより、自動的に指定のディレクトリにインストールされている CX-Protocol のファイルがバージョンアップされます。
  - バージョンアップが終了すると、次に示すダイアログボックスが表示されます。



5. [完了]ボタンをクリックします。

- 以上で CX-Protocol のインストールは終了です。
6. CX-Protocol を起動後、[ヘルプ] | [バージョン情報]で CX-Protocol のバージョンが [Release 1.50]と表示されていることをご確認ください。



注意: CX-Protocol Ver.1.50 で新しくサポートされる CJ1H-H-CPU67 を使用するためには、CX-Programmer Ver.5.0 以降がインストールされていることが必要です。[ヘルプ] | [バージョン情報]で CX-Sever のバージョンが Ver.2.2 以降であることを確認してください。

## トラブルシューティング

インストールの途中で以下のダイアログが表示され、インストールを中止することがあります。



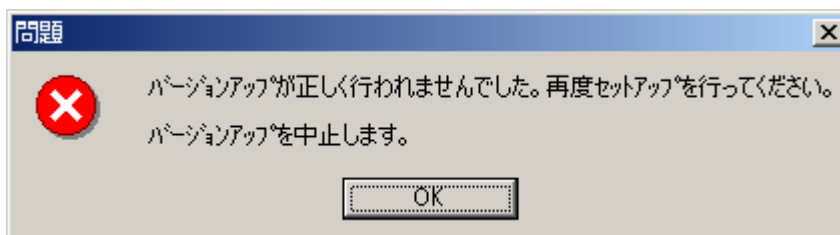
インストールの途中で上に示すダイアログが表示されたときは、CX-Protocol Ver.1.40 が正しくインストールされていません。

CX-Protocol Ver.1.40 が正しくインストールされているかどうか、またインストールされている場合にはどのディレクトリにインストールされているかを再確認した上で、もう一度 Setup.exe を実行してください。



インストールの途中で上のダイアログが表示されたときは、インストールされているCX-ProtocolのバージョンがVer.1.40と異なります。

インストールされているCX-ProtocolがVer.1.40かどうか確認したうえで、もう一度Setup.exeを実行してください。



インストールの途中で上のダイアログが表示されたときは、インストールされているCX-Protocolのファイルが異常か、または起動中です。

CX-Protocol Ver.1.40 が正しくインストールされているかどうか確認し、起動中ならば終了したうえで、再度 Setup.exe を実行してください。

## アンインストール

ここでは、CX-Protocol 関連のプログラムをアンインストールする手順を以下に示します。CX-Protocol 関連のプログラムをアンインストールするには、次に示すアプリケーションの削除を実行する必要があります。

- CX-Protocol バージョンアップソフト v.1.50
- CX-Protocol
- CX-Protocol バージョンアップソフト v1.\* (CX-Protocol バージョンアップソフト v1.\* をインストールした時のみ存在します)
- CX-Protocol バージョンアップソフト (CX-Protocol バージョンアップソフト をインストールした時のみ存在します)

1. [スタート] | [設定] | [コントロールパネル] | [アプリケーションの追加と削除]を起動します。

次に示すような[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



2. 初めに、[CX-Protocol バージョンアップソフト v.1.50]を選択します。

3. [追加と削除]ボタンをクリックします。

次に示すダイアログボックスが表示されます。



4. [OK]ボタンをクリックします。

アンインストールが実行されます。



5. アンインストールが終了したら、[完了]ボタンをクリックします。  
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。
6. 次に[CX-Protocol]を選択します。 1
7. [追加と削除]ボタンをクリックします。  
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
8. [OK]ボタンをクリックします。  
アンインストールが実行されます。
9. アンインストールが終了したら、[OK]ボタンをクリックします。  
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。

1 以前のバージョンの CX-Protocol バージョンアップソフトをインストールしていた場合は、それらを後からインストールしたのから順にアンインストールしてください。

以上でアンインストールは終了です。これによりインストーラがインストール対象マシンにコピーしたファイルは全て削除されます。しかし、インストールディレクトリ以下に新たにファイルやディレクトリを追加した場合には、インストールディレクトリ以下のディレクトリ構成と追加したファイルはアンインストール後も残ります。

したがって、完全に CX-Protocol 関連の情報をマシンから削除するには、[アプリケーションの追加と削除]実行後、インストールディレクトリ以下を全て削除してください。